

メダル基本情報

- 各競技種目の上位3名の選手に対してメダルを授与
- 競技結果を受け、メダルに種目名、受賞者氏名、国名の3行を刻印
- 直径70mm以上、厚さ：5mm以上（国や都市を反映したデザイン）
- 贈呈用の箱を用意し、メダル授与式後に選手に手渡す
- リボンは、イベントのルック＆フィールを用い、高級感があり、メダルをしっかりと保持するものとする



©Budapest 2023

ブダペスト大会（2023年）

ロゴ、スタジアムを表現

メダル開発方針（2024年7月公表）

「選手が手にしたいメダル」の開発 / 発表予定：2025年6月

1. ロゴを基調としたメダルデザイン

- ▶大会の統一性を図る観点から、ロゴを基調にデザイン

2. ジュニアアスリートや若手アスリートの参画

- ▶メダルデザインに先立ち、ジュニアアスリート（中高生）からの意見聴取を実施
- ▶これから世界を目指す若いアスリート（大学生等）が選定委員会に参画

3. 持続可能性への訴求

- ▶環境に配慮した素材の活用 / 箱（メダルケース）への多摩産材の活用

開発プロセス

時期	事項
2024年7月	デザイン開発 大会ロゴ作者（当財団ブランドディレクター）が、ジュニアアスリートから意見聴取を行いながら、3案作成 （ご協力いただいた学校： 城西大学付属 城西中学・高等学校、桐朋中学校・桐朋高等学校）
9月25日	メダルデザイン選定委員会 立体物の造形及び素材に関する専門家に加え、これから世界を目指す若いアスリートが選定に参画
2025年6月（予定）	メダル発表

選定委員会

氏名		肩書等
委員長	松崎 元	千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科 教授 / プロダクトデザイナー
委員	安積 伸	法政大学 デザイン工学部 システムデザイン学科 教授 / プロダクトデザイナー
委員	玉井 美由紀	株式会社FEEL GOOD CREATION代表取締役 / CMFデザイナー、 CMFクリエイティブディレクター
委員	梅野 倖子	陸上競歩選手 / 順天堂大学
委員	北田 琉偉オス カー誠治郎	陸上棒高跳選手 / 日本体育大学
委員	齋藤 真希	陸上円盤投選手 / 東海大学大学院
委員	三輪 颯太	陸上短距離選手 / 慶應義塾大学

ジュニアアスリートからの意見聴取風景



▲ 全景（中高生合同）



▲ 全景（高校生）



▲ メダルを手にした時の様子（高校生）



▲ メダルを手にした時の様子（中学生）

選定委員会写真



▲ 集合写真



▲ 選定の様子



▲ 選定の様子

メダルデザインについて（選定デザイン）



表



裏



表



裏



表：枠を超える。ロゴのフレームを超えて、陸上トラックで表現されたTYO（東京の都市コード）が伸びていき、外側の円弧により、全てが結ばれ、つながることを表しています。

裏：選手の氏名が刻印されることから、磨き加工により、選手の顔が映るようにし、「あなたの積み重ねた努力がメダルに届いた」と選手を主語として讃えるデザインとしています。

※ 製作に際して、加工等の制約からデザインの微修正が発生する場合があります